

## 清鋼材(3448)

業務効率化や生産性向上へ継続的に取り組むとともに  
 新規顧客開拓や高付加価値製品の開発を進める方針  
 TOKYO PRO Market | 鋼材部品加工事業等 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 3448:JP | REUTERS 3448.T

- 2020/3 通期は、売上高が前期比 16.8%減、営業利益、経常利益、当期利益が赤字転落。自然災害、米中貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて減収・営業赤字となった。
- 資金調達に係るシンジケートローン組成やタイ子会社の保有資産の減損損失といった一時的要因により経常赤字と最終赤字が拡大。
- 業務効率化や生産性向上に継続的に取り組むとともに国内外での新規顧客開拓や高付加価値製品開発を進める方針である。

### What is the news?

5/22発表の2020/3通期は、売上高が前期比16.8%減の37.36億円、営業利益が前期の5,192万円から▲7,212万円へ、経常利益が同6,230万円から▲1.13億円へ、当期利益が同1,259万円から▲2.04億円へ赤字転落。日本経済において自然災害の影響や米中貿易摩擦が長期化したこと、および、2020年初頭以降の新型コロナウイルス感染拡大により景気の減速傾向が強まったことから建設・産業機械業界の需要縮小が響き、減収・営業赤字となった。それに加え、コロナ禍の影響を考慮した資金調達面の対応としてシンジケートローンを組成したことから設定契約手数料が発生し経常赤字に繋がった。また、タイ子会社における保有資産の価値を見直した結果、減損損失が発生したことが響き最終赤字が拡大した。

セグメント別の業績は以下の通り。①日本は、売上高が前期比14.0%減の19.62億円、セグメント利益が前期の▲1,662万円から▲1.01億円へ赤字拡大。令和元年東日本台風の影響によるサプライチェーンの寸断等により建設機械・産業機械市況が悪化し、受注が減少した。②中国は、売上高が同20.4%減の15.40億円、セグメント利益が同43.4%減の5,054万円。アジア市場の低調な推移による受注減少が響き減収となったほか、人民元高傾向が減益要因となった。③タイは、売上高が同15.7%減の2.32億円、セグメント利益が前期の▲2,075万円から▲2,162万円へ赤字拡大。東南アジア全域の建機需要が低調に推移したことが響いた。

### How do we view this?

新型コロナウイルス感染拡大の影響を合理的に算定することが困難であることから 2021/3 期の会社業績予想を未定とした。コロナ禍の影響により景気の先行き不透明感が一層強まると考えられるなか、同社は業務効率化や生産性向上に継続的に取り組むとともに国内外での新規顧客開拓や高付加価値製品の開発を進める方針を掲げている。同社の生産方針である高品質、多品種少量生産、および短納期の達成のためには寸法精度を高めた製造設備、一品生産に重点を置いた CAD システムと光ファイバーにより連結されたレーザーマシンの配備などの設備投資への支出も中長期的な競争力の強化のためには必要と考えられよう。

### 業績推移

事業年度	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3F
売上高(百万円)	3,926	4,491	3,736	-
経常利益(百万円)	53	62	-113	-
当期純利益(百万円)	11	12	-204	-
EPS(円)	41.78	45.37	-684.79	-
PER(倍)	83.77	77.14	-	-
BPS(円)	3,288.28	2,411.00	1,631.40	-
PBR(倍)	1.06	1.45	2.15	-
配当(円)	19.50	15.00	-	-
配当利回り(%)	25.28	19.44	-	-

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)  
 株価(円) 3,500 2020/7/8(基準値)

### 会社概要

1966年に前社長の星野清士氏が鋼材および非鉄金属等の仕入販売を目的として東京(八丁堀)で設立後、2000年に本社を新潟県糸魚川市へ移転。主に鋼材の加工(切断、開先、折曲、穴明、溶接、塗装)および販売を行う。同社グループは日本(清鋼材および清エステート)、中国(昆山清陽精密機械)、タイ(スガスティール・タイ)の3拠点で事業を行っており、各地域において現地法人が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開する。その他に持分法適用関連会社として、同社製品の輸送を委託する有限会社バンノーがある。

主力の鋼材加工事業の内容は以下の通り。清鋼材は、主に小型の建設機械および産業機械用の鋼材部品加工を行っている。昆山清陽精密機械は、主に中～大型の建設機械および産業機械用の鋼材部品加工を行い、日経の建機・産業機械・車両メーカー向けの厚板溶断製品を生産している。スガスティール・タイは、主に中型の建設機械の鋼材部品加工を行い、日系建機メーカー向けに厚板溶断製品を生産している。その他の事業として、本社工場屋根に太陽光パネルを設置して太陽光発電事業を行うほか、第二工場に無菌室の「清々ファーム」を設置して農業生産事業を手掛けている。2019/9/26にTOKYO PRO Marketへ上場を果たした。

### 企業データ



(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

主要株主 (2020/6/26)	(%)
1. 星野陽一	43.00
2. 東京中小企業投資育成株式会社	30.00
3. 星野美智子	14.00
4. 星野大輝	9.33
5. 有限会社バンノー	0.87

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

### リサーチ部

笹木 和弘  
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘  
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。